**資料2**

# 令和７年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会
# 第１回理事会　次第

日　時　令和７年７月１５日(火)
午後３時から
場　所　小金井市民会館萌え木ホール

１　開会あいさつ

２　報告事項
(1)　令和７年度役員・理事名簿および輪番表他について
(2)　令和７年度全国社会教育委員連合表彰について
(3)　令和７年度（一社）全国社会教育委員連合第１回総会について
(4)　令和７年度関東甲信越静社会教育委員連絡協議会　第１回理事会について
(5)　その他

３　協議事項
(1)　令和７年度都市社連協ブロック研修会について
(2)　令和７年度都市社連協交流大会・社会教育委員研修会実施要項（案）について
(3)　その他

４　その他

【配付資料】
・【報告１－１】令和７年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会役員名簿及び理事名簿
・【報告１－２】東京都市町村社会教育委員連絡協議会役員輪番表
・【報告１－３】都市社連協ブロック編成、役員及びブロック幹事一覧
・【報告２】令和７年度全国社会教育委員連合表彰候補者推薦書
・【報告３】令和７年度（一社）全国社会教育委員連合第１回総会次第及び議事資料
・【報告４】令和７年度関東甲信越静社会教育委員連絡協議会第１回理事会議事資料
・【協議１】令和７年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会ブロック研修会実施計画（案）
・【協議２】令和７年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会実施要項（案）

第２回理事会は令和８年２月１７日（火）に開催予定です。

第２回役員会・拡大役員会/第1回理事会
（令和7.7.15）

**報告1-1**

# 令和７年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会役員名簿

令和７年７月１５日現在

## １　会長・副会長・会計

| 役職名 | 氏名 | 所属 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 会長 | 笹井　宏益 | 小金井市 | |
| 副会長 | 生尾　光 | 小平市 | |
| | 須崎　奈緒美 | 日野市 | |
| 会計 | 金澤　大恵 | 小金井市 | |

## ２　会計監査

| 役職名 | 氏名 | 所属 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 会計監査 | 倉持　伸江 | 立川市 | |
| | 光田　剛 | 武蔵野市 | |

## ３　理事

| | |
|---|---|
| 理事 | 会長市２名、他市町（２８市町）各１名　計３０名 |

# 令和７年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会理事名簿

令和7年７月15日現在

| ブロック | 市 町 名 | 理事氏名 | ブロック幹事市 |
|---|---|---|---|
| 第一ブロック | 青 梅 市 | 宮野　良一 | |
| | 福 生 市 | 會田　ゆき子 | |
| | 羽 村 市 | 川津　紘順 | |
| | あきる野市 | 私市　耕治 | |
| | 瑞 穂 町 | 牧野　壽義 | ○ |
| | 奥 多 摩 町 | 谷田貝　美鈴 | |
| | 日 の 出 町 | 對馬　伸一郎 | |
| 第二ブロック | 立 川 市 | 倉持　伸江 | |
| | 昭 島 市 | 二ノ宮リムさち | |
| | 国 分 寺 市 | 山崎　明子 | ○ |
| | 国 立 市 | 生島　美和 | |
| | 東 大 和 市 | 池田　陽子 | |
| | 武蔵村山市 | 長堀　雅春 | |
| 第三ブロック | 八 王 子 市 | 三浦　眞一 | |
| | 町田市 | 吉田　和夫 | ○ |
| | 日 野 市 | 須崎　奈緒美 | |
| | 多 摩 市 | 長島　剛 | |
| | 稲 城 市 | 渡邉　真砂子 | |

| ブロック | 市 町 名 | 理事氏名 | ブロック幹事市 |
|---|---|---|---|
| 第四ブロック | 小 平 市 | 生尾　光 | |
| | 東 村 山 市 | 森田　明美 | |
| | 西 東 京 市 | 川原　健太郎 | ○ |
| | 清 瀬 市 | 倉持　伸江 | |
| | 東久留米市 | 菅沼　法子 | |
| 第五ブロック | 武 蔵 野 市 | 光田　剛 | |
| | 三 鷹 市 | 田中　雅文 | |
| | 府 中 市 | 長畑　誠 | |
| | 調 布 市 | 篠﨑　光正<br>宮下　孝広 | ○ |
| | 小 金 井 市 | 笹井　宏益<br>金澤　大恵 | |
| | 狛 江 市 | 塚越　博道 | |

# 東京都市町村社会教育委員連絡協議会役員輪番表

| 年度 | 会長 | 副会長 | | 会計 | 会計監査 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 元 | 三鷹市 | 青梅市 | 府中市 | 三鷹市 | 清瀬市 | 東久留米市 |
| 2 | 青梅市 | 府中市 | 昭島市 | 青梅市 | 武蔵村山市 | 多摩市 |
| 3 | 府中市 | 昭島市 | 調布市 | 府中市 | 稲城市 | 羽村市 |
| 4 | 昭島市 | 調布市 | 町田市 | 昭島市 | あきる野市 | 西東京市 |
| 5 | 調布市 | 町田市 | 小金井市 | 調布市 | 瑞穂町 | 日の出町 |
| 6 | 町田市 | 小金井市 | 小平市 | 町田市 | 奥多摩町 | 八王子市 |
| 7 | 小金井市 | 小平市 | 日野市 | 小金井市 | 立川市 | 武蔵野市 |
| 8 | 小平市 | 日野市 | 東村山市 | 小平市 | 三鷹市 | 青梅市 |
| 9 | 日野市 | 東村山市 | 国分寺市 | 日野市 | 府中市 | 昭島市 |
| １０ | 東村山市 | 国分寺市 | 国立市 | 東村山市 | 調布市 | 町田市 |
| １１ | 国分寺市 | 国立市 | 福生市 | 国分寺市 | 小金井市 | 小平市 |
| １２ | 国立市 | 福生市 | 狛江市 | 国立市 | 日野市 | 東村山市 |
| １３ | 福生市 | 狛江市 | 東大和市 | 福生市 | 国分寺市 | 国立市 |
| １４ | 狛江市 | 東大和市 | 清瀬市 | 狛江市 | 福生市 | 東久留米市 |
| １５ | 東大和市 | 清瀬市 | 東久留米市 | 東大和市 | 狛江市 | 武蔵村山市 |

※ 会計監査については、会長市が会計監査とならないように、輪番が変更しています。

〈 輪番について 〉

ア　市町制施行順とする。

イ　平成６年度から副会長を２年間務めた市が会長市となる。

ウ　町が輪番の時は、副会長を１年務める。この場合副会長は市と町で務め、市は翌年会長市になる。

第２回役員会・拡大役員会/第1回理事会
（令和7.7.15）

# 報告１－３

## 都市社連協ブロック編成、役員及びブロック幹事一覧

| | 市町名 | R06 | R07 | R08 | R09 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | R15 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第一ブロック | 青梅市 | | | 監査 | | ○ | | | | | |
| | 福生市 | | | | | | ○副会長 | 副会長 | 会長 | 監査 | |
| | 羽村市 | ○ | | | | | | | ○ | | |
| | あきる野市 | | | | | | | ○ | | | |
| | 瑞穂町 | | ○ | | | | | | | ○ | |
| | 奥多摩町 | 監査 | | | ○ | | | | | | |
| | 日の出町 | | | ○ | | | | | | | ○ |
| 第二ブロック | 立川市 | | 監査 | | | ○ | | | | | |
| | 昭島市 | | | | 監査 | | ○ | | | | |
| | 国分寺市 | | ○ | | 副会長 | 副会長 | 会長 | ○ | 監査 | | |
| | 国立市 | ○ | | | | 副会長 | 副会長 | 会長 | ○監査 | | |
| | 東大和市 | | | ○ | | | | | 副会長 | ○副会長 | 会長 |
| | 武蔵村山市 | | | | ○ | | | | | | ○監査 |
| 第三ブロック | 八王子市 | 監査 | | | ○ | | | | | ○ | |
| | 町田市 | 会長 | ○ | | | 監査 | | ○ | | | |
| | 日野市 | | 副会長 | 副会長 | 会長 | ○ | | 監査 | | | ○ |
| | 稲城市 | | | ○ | | | | | ○ | | |
| | 多摩市 | ○ | | | | | ○ | | | | |
| 第四ブロック | 小平市 | 副会長 | 副会長 | 会長 | ○ | | 監査 | | | ○ | |
| | 東村山市 | | | ○副会長 | 副会長 | 会長 | | 監査 | ○ | | |
| | 西東京市 | | ○ | | | | | ○ | | | |
| | 清瀬市 | ○ | | | | | ○ | | | 副会長 | 副会長 |
| | 東久留米市 | | | | | ○ | | | | 監査 | ○副会長 |
| 第五ブロック | 武蔵野市 | | 監査 | | | ○ | | | | | |
| | 三鷹市 | | | 監査 | | | ○ | | | | |
| | 府中市 | ○ | | | 監査 | | | ○ | | | |
| | 調布市 | | ○ | | | 監査 | | | ○ | | |
| | 小金井市 | 副会長 | 会長 | ○ | | | 監査 | | | ○ | |
| | 狛江市 | | | | ○ | | | 副会長 | 副会長 | 会長 | ○監査 |

※会長担当市は会計も併せて担当します。

※「○」はブロック幹事市です。

第２回役員会・拡大役員会/第１回理事会
（令和7．7．15）
**報告２**

# 令和７年度全国社会教育委員連合表彰候補者推薦書

基準日：令和7(2025)年4月1日

| 会員名（県等名） | 東京都市町村 | 1302 |
|---|---|---|

| ふりがな | すがぬま　のりこ | 生年月日 | 年月日 | 年齢 | 性別 |
|---|---|---|---|---|---|
| 氏　名 | 菅沼　法子 | | 〈記載省略〉 | 〈記載省略〉 | 〈記載省略〉 |
| 現住所 | 〒<br>〈記載省略〉 | | | | |
| 所　属 | 東久留米市 | 職　業 | 〈記載省略〉 | | |

| 推薦区分 | 1 | 2 | 3 | 通算年数（区分1・2） | 18年7か月 |
|---|---|---|---|---|---|
| | ○ | | | | |

**社会教育委員に関する略歴**

〔社会教育委員歴〕（施行細則第2条第1項関係）
平成１８年９月１日～現在　東久留米市社会教育委員
（うち令和２年８月１１日～現在　東久留米市社会教育委員議長）

〔都道府県及び政令指定都市単位に結成された社会教育委員の団体の長の経歴〕（施行細則第2条第2項関係）

〔関係職員として5年以上在職した経歴〕（施行細則第2条第3項関係）

〔その他特筆すべき社会教育委員及び社会教育の活動の略歴〕
平成22年1月16日～現在　東久留米市立図書館協議会委員

**受賞歴**

〔社会教育委員関係〕
平成24年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会表彰

〔その他特筆すべき受賞歴〕
平成6年度　東久留米市社会教育功労（ボーイスカウト）
平成24年度　東京都市明るい選挙推進協議会連合会　功績者表彰
平成26年度　東久留米市社会福祉功労（保護司）
平成27年度　東京都明るい選挙推進大会 永年功労者表彰
平成29年度　全国市区選挙管理委員会連合会表彰（一般）
令和2年度　東久留米市行政功労（図書館協議会委員）

**推薦の事由**

平成18年から18年7か月にわたり東久留米市社会教育委員を務められており、令和2年からは議長として社会教育委員の運営・会議の充実に尽力されている。また、平成16年から令和2年まで保護司を歴任、昭和54年から現在までボーイスカウトでの活動をされる等、その明朗快活なお人柄で地域の方々からの信頼が厚く、長年地域でご活躍されている。

**備考**

氏名や市町村名等の難しい漢字の説明はここに記入してください。手書きでも構いません。

第２回役員会・拡大役員会/第１回理事会
（令和 7.7.15）
**協議１**

# 令和７年度
# 東京都市町村社会教育委員連絡協議会ブロック研修会実施計画（案）

**統一テーマ　「つながり、関わり合い、ともに創造する地域の未来**

**～身近な課題を自分ごととして考えよう～」**

| ブロック | 幹　事 | 開催日時 | 場　所 | 研修テーマ<br>内　容 | 派遣役員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 瑞穂町 | 10 月 18 日（土）<br>14 時 00 分 ～<br>16 時 00 分 | 瑞穂町郷土資料館<br>「けやき館」<br>東京都西多摩郡瑞穂町大字駒形富士山 316 番地 5 | 【テーマ】（仮）<br>地域とのつながり<br>身近な取組を考える<br>【内容】（仮）<br>「瑞穂ふるさと大学」紹介<br>事例発表「住民提案型協働事業」 | 未定 |
| 2 | 国分寺市 | 11 月 29 日（土）<br>13 時 30 分　～<br>16 時 00 分<br>※時間は調整中 | 国分寺市<br>ひかりプラザ<br>203、204 会議室 | 【テーマ】<br>人と人とがつながり<br>学びが循環するまち<br>～「広がる」・「超える」・「届く」～<br>【内容】<br>テーマに則った事例紹介、グループ討議（予定） | 未定 |
| 3 | 町田市 | 11 月 14 日（金）<br>13 時 30 分～<br>16 時 00 分（予定） | 町田市役所または<br>町田市民文学館<br>（予定） | 【テーマ】<br>社会教育・生涯学習の新しい風（仮）<br>【内容】<br>・講演（アンガーマネジメントについて）<br>・文学館・図書館の取組について（仮） | 未定 |
| 4 | 西東京市 | 10 月 31 日（金）<br>午後２時から４時<br>※時間は調整中 | 西東京市役所<br>202・203 会議室 | 【テーマ】<br>統一テーマに即した内容で検討中<br>【内容（仮）】<br>第１部：講演<br>第2部 ：第１部を踏まえてグループディスカッション | 未定 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 5 | 調布市 | 11 月 9 日（日）<br>13 時 00 分～<br>16 時 00 分<br>（予定） | 調布市文化会館<br>たづくり 12 階<br>大会議場 | 社会教育はインクルーシヴ社会を目指し、人づくり、地域づくりに適した持続可能な社会の創り手である。地域の財産を生かし次世代を担う人づくりに社会教育を基盤として考える。<br><br>【テーマ】（仮）<br>「市民参加演劇で<br>社会教育を考える」<br><br>【内容】<br>(1) 演劇を通して、社会教育を多角的視点から課題解決に向けた検討を行う。<br>(2) プログラム<br>①開会<br>②演劇「四重奏」上演<br>③全体での討議<br>④まとめ<br>⑤閉会<br>(3) 市民参加<br>演劇の出演者及びスタッフを公募<br>(4) 懇親会の開催<br>研修会終了後、同会場にて懇親会を開催（調整中） | 未定 |

※派遣役員については、日程が出揃い次第、正副会長市で調整します。

第２回役員会・拡大役員会/第１回理事会
（令和 7.7.15）
**協議２**

令和７年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会
交流大会・社会教育委員研修会　実施要項（案）

日　時：令和７年１２月１３日（土）午後１時３０分～(受付午後１時００分から)

場　所：小金井　宮地楽器ホール　大ホール（小金井市本町６－１４－４５）

主　催：東京都市町村社会教育委員連絡協議会

| | |
|---|---|
| 13:30 | 交流大会<br>■第１部　式典（15 分）<br>開　　会　都市社連協副会長　生尾　光　　（小平市）<br><br>あいさつ　都市社連協会長　　笹井　宏益　（小金井市）<br><br>来賓祝辞　　東京都小金井市教育委員会教育長　大熊　雅士　氏 |
| 13:45 | ■第２部　各ブロック研修会実施報告（65 分）※質疑応答含む<br>第１ブロック幹事　瑞穂町<br>第２ブロック幹事　国分寺市<br>第３ブロック幹事　町田市<br>第４ブロック幹事　西東京市<br>第５ブロック幹事　調布市<br><br>※今年度の統一テーマを受け実施された各ブロック研修会の内容報告。<br>全体で議論したい課題や問題意識などがあればあわせて報告。 |
| 14:50 | 休憩（10 分） |
| 15:00 | ■第３部　社会教育委員研修会（時間未定）<br>内容未定 |
| 16:05 | 閉　　会　都市社連協副会長　須崎　奈緒美　（日野市） |

# 第56回 関東甲信越静
# 社会教育研究大会
# 神奈川大会
## 開催要項（案）

令和7年11月20日（木）・21日（金）

神奈川県
PRキャラクター
かながわキンタロウ

【研究主題】

「すべてのひとが
学び続けられる社会をつくるために
社会教育ができること」

【 会　場 】 関内ホール　ほか

---

主催／共催

一般社団法人全国社会教育委員連合、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会、
第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員会、神奈川県社会教育委員連絡協議会、
神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会

## 1　大会スローガン　「社会教育で創る　育む　つなげる　共生の未来へ」

## 2　研究主題　　「すべてのひとが学び続けられる社会をつくるために社会教育ができること」

## 3　趣　旨

人生 100 年時代といわれている昨今、グローバル化や地球環境問題、少子化・人口減少、都市地方格差による様々な社会問題が取り上げられる中、継続的な生涯を通じての学び、誰もが活躍できる環境の整備、持続可能な社会の構築が求められ、社会教育の役割が期待されています。

今回の神奈川大会では「すべての人が学び続けられる社会をつくるために社会教育ができること」をメインテーマとして研究大会を開催いたします。

開港 166 年を迎え日本の伝統文化と近代的な都市との融合がみられる神奈川県「横浜」の地で、これからの社会教育について、私たち社会教育委員に何ができるのか、何を担うべきかを考える 2 日間としたいと思います。

## 4　主　催/共　催

一般社団法人全国社会教育委員連合、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会、
第 56 回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員会、
神奈川県社会教育委員連絡協議会、神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会

## 5　後　援

神奈川県、横浜市、神奈川県公民館連絡協議会、神奈川県地域婦人団体連絡協議会、
神奈川県社会教育協会、神奈川新聞社、ｔｖｋ（テレビ神奈川）

## 6　期　日　　令和 7 年 11 月 20 日（木）・21 日（金）

## 7　参加者　　関東甲信越静各市町村社会教育委員及び事務局関係者
同地区の社会教育関係団体会員、社会教育施設職員等社会教育関係者
同地区の地域住民、ＮＰＯ法人、社会教育士、
学校関係等生涯学習・社会教育に関心のある方

## 8　参加費　　4,000 円（参加資料代等）　※学生は 2,000 円

## 9　日　程

| | 11:00 | 12:00 | 12:30 | 13:00 | 13:10 | 14:10 | 14:20 | 16:20 | 16:40 | 18:30 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第１日目<br>11 月 20 日（木）<br>【全体会】 | | 受付 | 歓迎セレモニー | 開会行事 | | 記念講演 | シンポジウム | 閉会行事 | | 情報交換会 |

| | 9:30 | 10:00 | 12:30 |
|---|---|---|---|
| 第２日目<br>11 月 21 日（金）<br>【分科会】 | | 受付 | 分科会<br>（分科会ごとに閉会） |

10　会　場

【第１日目】＜全体会＞

**関内ホール（大ホール）**　横浜市中区住吉町４-42-１

JR 関内駅北口徒歩６分、市営地下鉄ブルーライン関内駅９番出口徒歩２分

【第２日目】

＜第１分科会＞　**関内ホール（小ホール）**　横浜市中区住吉町４-42-１

JR 関内駅北口徒歩６分、市営地下鉄ブルーライン関内駅９番出口徒歩２分

＜第２分科会＞　**横浜市開港記念会館（講堂）**　横浜市中区本町１-６

みなとみらい線日本大通り駅 1 番出口徒歩１分、JR 関内駅南口徒歩 10 分

＜第３分科会＞　**横浜情報文化センター(情文ホール)**　横浜市中区日本大通 11

みなとみらい線日本大通り駅 3 番情文センター口直結、JR 関内駅南口徒歩 10 分

＜第４分科会＞　**横浜市技能文化会館（ホール１）**　横浜市中区万代町 2-４-７

市営地下鉄ブルーライン伊勢崎長者町駅１番出口徒歩３分、JR 関内駅徒歩５分

＜第５分科会＞　**かながわ県民センター（ホール）**　横浜市神奈川区鶴屋町２-24-２

JR・市営地下鉄・みなとみらい線横浜駅きた西口徒歩５分

11　大会内容

【11 月 20 日（木)】第１日目＜全体会＞

11:00～12:00　全体会受付

12:00～12:20　歓迎セレモニー　「中国獅子舞」　学校法人横濱中華學院

12:30～13:00　開会行事

・主催者あいさつ

第 56 回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員長

全国社会教育委員連合会長

・来賓祝辞

・歓迎のことば

・来賓紹介

13:10～14:10　記念講演

テーマ：「誰もが自分らしく生きることができる社会を目指して」（仮）

認定 NPO 法人スローレーベル　栗栖　良依　氏

14:20～16:20　シンポジウム

テーマ：「すべてのひとが学び続けられる社会をつくるために

社会教育ができること」

＜コーディネーター＞

青山学院大学　コミュニティ人間科学部　教授　伊藤　真木子　氏

＜シンポジスト＞

東京都台東区教育委員会社会教育主事　阪本　陽子　氏

相模原市社会教育委員　　渡邊　健一　氏

前厚木市立森の里公民館長　青木　信二　氏

16:20～16:40　閉会行事

・次期関東甲信越静社会教育研究大会開催県あいさつ（群馬県）

・全員合唱　「栄光の架橋」作詞：北川悠仁　作曲：北川悠仁

・閉会のことば

【11 月 21 日（金)】第２日目＜分科会＞　10:00～12:30（分科会受付　9:30～10:00）

| 第 1 分 科 会　会場：関内ホール（小ホール） | |
|---|---|
| テーマ | ＜地域の教育力の再生と社会教育委員の役割＞<br>地域の教育力の低下がささやかれる中、地域の教育力を再生していかなければならない。その再生にむけた社会教育委員の役割について考える。 |
| 助言者 | 聖学院大学　准教授　若原　幸範　氏 |
| 事例発表者 | 内　容 |
| 【長野県下諏訪町】<br>下諏訪町社会教育委員<br>依田　秀人　氏 | 星ヶ塔黒曜石原産地遺跡を題材にした学び<br>～紙芝居を作った私たちの物語～<br>社会教育委員が星ヶ塔黒曜石原産地遺跡を題材にした学びを紹介します。紙芝居制作を通じて、地域の歴史と文化を子どもたちに伝える取り組みを行い、その過程で得た成果と課題を発表します。 |
| 【神奈川県海老名市】<br>海老名市社会教育委員会議<br>議長　　橋本　絵美里　氏<br>副議長　金田　ゆかり　氏 | 子どもと大人が共に育つ社会の構築を目指して<br>本市では、「子どもの活動支援をとおして、子どもと子ども、子どもと大人、大人と大人が、人と人とのつながりを広め、深め、子どもと大人がともに育つ社会の構築」を社会教育目標に掲げ、社会教育委員自ら行動し、社会教育計画の進捗を支えています。 |

| 第 2 分 科 会　会場：横浜市開港記念会館（講堂） | |
|---|---|
| テーマ | ＜次の世代につなぐ持続可能な社会＞<br>予測できない未来に向け、持続可能な社会の担い手を育成するために社会教育ができることを考える。 |
| 助言者 | 青山学院大学　准教授　大木　真徳　氏 |
| 事例発表者 | 内　容 |
| 【栃木県市貝町】<br>市貝ジュニアリーダースクラブ会長<br>永島　誠強　氏 | 地域の若者と大人が協力して作り上げる、次世代へ向けた新イベント「おかのぼ Rock Fest.」の実施について<br>高校生の「やってみたい」という思いから始動した、地域初の音楽フェスです。開催決断にいたるまでの経緯や、準備中の困難だった点、イベントを経験した高校生たちの地域のこれからにかける思いなど、詳細について説明を行います。 |
| 【神奈川県藤沢市】<br>藤沢市社会教育委員会議<br>認定 NPO 法人藤沢市民活動推進機構 | 予測できない未来に向け、持続可能な社会の担い手を育成するために社会教育ができることを考える<br>藤沢市社会教育委員会議が深く関わり策定された「生涯学習ふじさわプラン２０２６」に位置付けられている「未来を担う人材育成」について考える。具体的な事例として、「地域でつながるワカモノ×ＮＰＯ インターンシッププログラム」を紹介する。 |

| 第 3 分 科 会　　会場：横浜情報文化センター（情文ホール） | |
|---|---|
| テーマ | ＜家庭教育支援＞<br>子育て・家庭教育の大切さを認識し、地域・学校など社会全体で支えるような親や子どもを支援していく取組について考える。 |
| 助言者 | 鎌倉女子大学　教授　久保内　加菜　氏 |
| 事例発表者 | 内　容 |
| 【群馬県高崎市】<br>高崎市社会教育委員<br>小池　美千子　氏 | 「学び」を通じて親子が成長し、活躍できるための家庭支援の方策について |
| | 事例発表の概要<br>子ども世帯の減少、核家族化進行など家庭を取り巻く環境の変化等により親（保護者）が抱える悩みも複雑化している。本市では、「学び」を通じて親子が自立する力を高め、自信を持って成長し、活躍できるための家庭支援の方策について、提言をまとめました。 |
| 【神奈川県寒川町】<br>寒川町教育委員会生涯学習課<br>副主幹　山口　明子　氏 | 子どもの未来を地域で育てる（仮）<br>～公民館・図書館における家庭教育支援の取組 |
| | 事例発表の概要<br>子どもが社会性を身につけ、自立心を育むためには家庭教育の役割は重要です。近年は家庭環境が多様化し、課題を抱える家庭もあります。地域全体で子どもの健やかな成長を支援し、学ぶ機会の充実に向けて、地域の身近な学びの場である公民館、図書館の家庭教育支援の取組を中心に紹介します。 |

| 第 4 分 科 会　　会場：横浜市技能文化会館（ホール１） | |
|---|---|
| テーマ | ＜共生社会の実現＞<br>年齢、性別、障がいの有無、文化的背景等に関わりなく、誰もが豊かな人生を享受することができる共生社会の実現にむけた社会教育の役割について考える。 |
| 助言者 | 東京家政大学　教授　白木　賢信　氏 |
| 事例発表者 | 内　容 |
| 【神奈川県川崎市】<br>川崎市社会教育委員<br>○○　○○　氏<br>NPO 法人□□□□<br>□□　□□　氏 | |
| | 事例発表の概要 |
| 【神奈川県茅ヶ崎市】<br>茅ヶ崎市社会教育委員<br>（神奈川県立茅ケ崎支援学校<br>総括教諭 支援連携グループリーダー）<br>下村　耕一郎　氏 | 共生社会推進に向けて社会教育施設ができること<br>～誰もが活用しやすい公民館を目指して～ |
| | 「障害児・者が自分らしく生きることができるために社会教育施設は何ができるか」をテーマに調査・研究を進めています。「地域とともにある学校」を目指す特別支援学校とタッグを組み、地域のニーズをもとに、共生社会推進につながる新講座を企画・実施しました。 |

| 第 5 分 科 会　　会場：かながわ県民センター（ホール） | |
|---|---|
| テーマ | ＜地域学校協働活動＞<br>地域学校協働活動において地域の資源を生かし、活動をとおして地域の活性化を図り、積極的な世代間交流につなげる取組について考える。 |
| 助言者 | 国立教育政策研究所　初等中等教育研究所　部長　藤原　文雄　氏 |
| 事例発表者 | 内　容 |
| 【新潟県見附市】<br>見附市社会教育・スポーツ推進審議会委員<br>江田　隆行　氏 | 社会教育委員がつなぐ CS と地域学校協働活動<br>～新潟県見附市立見附中学校での取組～ |
| | 見附中学校生徒会発案の「みちゅまいも（サツマイモ）」の栽培、収穫、販売等の活動への支援を通して、商店、住宅地、農地のある学区の住民が中学校に集い交流した取組です。社会教育委員としての経験を活かし、コミュニティスクールと地域学校協働活動が一体化するよう取り組んだ様子を紹介します。 |
| 【神奈川県真鶴町】<br>真鶴町社会教育委員会議<br>議長　奥津　秀隆　氏 | 弱みを強みに！～小さな町の挑戦～ |
| | 過疎地域に指定され、地域資源も乏しく少子高齢化が急速に進む小さな町が、町にある資源を有効活用し、ないものは他地域に求めるとともに、コンパクトな規模の町であることを生かして地域を巻き込みながら、弱みを強みに変えて大人も子どもたちも元気に活動する姿を紹介します。 |

## 12　開催/参加方法

（1）開催方法について

・全体会及び分科会は対面で行います。ライブ配信は行いません。

（2）参加方法について

・大会申込みサイトからお申込みください。団体でのお申込みも可能です。

## 13　その他

・今大会では、ご参加いただく皆様の乗用車でのご来場はできません。公共交通機関をご利用ください。

＜大会に関する問合せ先＞

第 56 回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員会
住　　所　　横浜市中区日本大通１　〒２３１－８５８８
ＴＥＬ　　０４５－２１０－８３４７
ＦＡＸ　　０４５－２１０―８９３９
受付時間　　８：３０～１７：１５　※土曜・日曜・祝日は休業

# 第67回全国社会教育研究大会

令和７年度東北地区社会教育研究大会／第70回東北地区公民館大会
第71回岩手県公民館大会／令和７年度岩手県社会教育委員研究大会

# 岩手大会

開催要項

〈大会スローガン〉
## 学びと絆で未来を拓く！
社会教育のイーハトーブをめざして in いわて

研究主題
## 共に学び支えあう社会教育の実践
## ～ウェルビーイングの実現に向けて～

®わんこきょうだい

期日　令和７年 10.29［水］▸▸ 31［金］

会場　アイーナ（いわて県民情報交流センター）、マリオス（盛岡市民文化ホール、盛岡地域交流センター）
盛岡市中央公民館、ホテルメトロポリタン盛岡本館、ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING

第67回全国社会教育研究大会　岩手大会　実行委員会

## 1 開催趣旨

岩手山を中心に広がる山々。海と陸が織りなす造形が美しい三陸海岸。世界遺産「平泉」や「橋野鉄鉱山」、「御所野遺跡」などの歴史と文化を物語る多くの史跡。さらに県内各地に点在する温泉郷では、日々の疲れを癒してくれる宿が人々を温かく迎え入れてくれます。この岩手県に、全国の社会教育関係者が一堂に会し、共に学び、絆を深め、地域の未来のために語り合うことができるのは何よりの喜びであり、私たちの幸せです。

さて、現代の社会は、人と人との「つながり」の希薄化、困難な状況にある人々に関する課題が顕在化・深刻化しており、社会教育が果たす役割はますます重要になっています。

そのような状況の中で開催される今大会の研究主題「共に学び支えあう社会教育の実践」は、個人の幸せとともに、地域が幸せや豊かさを感じられるものとなるウェルビーイングの実現のために、着実に取組を「実践」していこうとする私たちの決意でもあります。

文学、農業、教育、地質学などさまざまな分野に才能を発揮した岩手の偉人・宮沢賢治は詩「雨ニモマケズ」の中で「東ニ病気ノコドモアレバ “行ッテ”看病シテヤリ」と記しています。宮沢賢治は、イーハトーブという理想郷の実現のために、課題解決への対策を「実践」することが大切だと考えていたのではないでしょうか。

この大会では、社会教育委員をはじめ社会教育に携わる仲間たちが、地域の幸せを願い、より良くしていこうとする実践を共有したいと思います。そして、「自分たちが学び、発見したことを地域の課題解決にも生かすことができる」という社会教育の魅力と可能性を実感できる大会にしていきたいと考えます。

## 2 期　日

令和７年10月29日（水）～ 31日（金）

## 3 会　場

| | |
|---|---|
| 〈１日目〉アイーナ（いわて県民情報交流センター） | 盛岡市盛岡駅西通1丁目7-1 |
| 〈２日目：全国社会教育委員連合総会〉 | |
| 　　アイーナ（いわて県民情報交流センター） | 盛岡市盛岡駅西通1丁目7-1 |
| 〈２日目：全体会〉 | |
| 　　マリオス（盛岡市民文化ホール、盛岡地域交流センター） | 盛岡市盛岡駅西通2-9-1 |
| 〈２日目：情報交換会〉 | |
| 　　ホテルメトロポリタン盛岡本館 | 盛岡市盛岡駅前通1-44 |
| 〈３日目：分科会〉 | |
| 　　マリオス（盛岡市民文化ホール、盛岡地域交流センター） | 盛岡市盛岡駅西通2-9-1 |
| 　　ホテルメトロポリタン盛岡本館 | 盛岡市盛岡駅前通1-44 |
| 　　ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING | 盛岡市盛岡駅前北通2-27 |
| 　　盛岡市中央公民館 | 盛岡市愛宕町14-1 |

※盛岡駅から３kmほど離れております。無料シャトルバスのご利用をおすすめします。（９ページ参照）

## 4 対　象

都道府県・政令指定都市・市町村社会教育委員及び社会教育関係者、公民館職員
社会教育関係団体、その他生涯学習・社会教育に関心のある方

## 5 参加費

一人　５，０００円（大会資料代）

## 6 大会日程

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 【1日目】10/29(水) | | | | | 全国社会教育委員連合理事会 14:00~15:30 | 都道府県・政令指定都市社会教育委員連絡協議会等事務局担当者会議 16:00~17:30 | | | |
| 【2日目】10/30(木) | | 全国社会教育委員連合総会 10:00~11:30 | 受　付 11:30~12:30 | 全体会 アトラクション 12:30~12:50 | 全体会 開会行事表彰式 13:00~13:50 | 全体会 記念講演 14:00~15:20 | 全体会 シンポジウム 15:30~16:50 | 全体会 閉会行事 17:15 終了 | 東北社連東北公連理事会 17:45~18:15 | 情報交換会 18:30~20:30 |
| 【3日目】10/31(金) | 受付 9:00~9:30 | 分科会 9:30~12:00 | | | | | | | | |

## 7 大会内容

### 1日目　10月29日(水)

※関係者のみ
会場：アイーナ804会議室

◆全国社会教育委員連合理事会　14：00 ～ 15：30
◆都道府県・政令指定都市社会教育委員連絡協議会等事務局担当者会議　16：00 ～ 17：30

### 2日目　10月30日(木)

◆全国社会教育委員連合総会　※関係者のみ　会場：アイーナ804会議室　10：00 ～ 11：30

## 全　体　会

**受付：11：30 ～ 12：30　　会場：マリオス（盛岡市民文化ホール大ホール）**

### ◆アトラクション　12：30 ～ 12：50

賢治と歩む、賢治と学ぶ、賢治と歌う

〈語り〉　劇団もしょこむ　代表　小笠原　景子　氏
〈合唱〉　岩手県立南昌みらい高等学校音楽部
〈演出〉　NPO法人いわてアートサポートセンター　理事長　坂田　裕一　氏

## ◆開会行事・表彰式　13：00 ～ 13：50

（1）開会のことば　（第67回全国社会教育研究大会岩手大会実行委員会委員長）
（2）国歌斉唱
（3）主催者あいさつ（一般社団法人全国社会教育委員連合会長）
（4）来賓祝辞　（文部科学省、岩手県知事）
（5）歓迎のことば　（盛岡市長）
（6）来賓紹介
（7）主催者紹介
（8）表彰　一般社団法人全国社会教育委員連合表彰
　　表彰　東北地区社会教育委員連絡協議会表彰
　　表彰　東北地区公民館連絡協議会功労者表彰
　　表彰　岩手県社会教育連絡協議会表彰

## ◆記念講演　14：00 ～ 15：20

演題　「岩手発　ブラックホール行き　銀河鉄道の旅」
講師　国立天文台水沢VLBI観測所所長　本間　希樹　氏

## ◆シンポジウム　15：30 ～ 16：50

「共に学び支えあう社会教育の実践
　～ウェルビーイングの実現に向けた社会教育の役割とは～」

■ コーディネーター
前野　隆司　氏（武蔵野大学ウェルビーイング学部教授）
■ シンポジスト
井口 啓太郎　氏（国立市教育委員会教育部公民館館長補佐、生涯学習課課長補佐兼任）
岡田　直人　氏（埼玉県川口市立新郷小学校教頭）
山屋　理恵　氏（認定特定非営利活動法人インクルいわて理事長）

## ◆閉会行事　17：00 ～ 17：15

（1）次期全国社会教育研究大会開催地あいさつ（大阪府）
（2）次期東北地区社会教育研究大会・公民館大会開催地あいさつ（秋田県）
（3）閉会のことば（東北地区公民館連絡協議会会長）

◆東北地区社会教育委員連絡協議会理事会　※関係者のみ　会場:マリオス5F第1会議室　17:45～18:15

◆東北地区公民館連絡協議会理事会　※関係者のみ　会場:マリオス5F第2会議室　17:45～18:15

## ◆情報交換会（参加費：6,500円）　18：30 ～ 20：30

会場：ホテルメトロポリタン盛岡本館
盛岡さんさ踊りをお楽しみください。たくさんのご参加お待ちしております。

# 3日目　10月31日(金)

# 分　科　会

9：30～12：00（9：00 受付開始）

## ■ 第１分科会　「社会教育委員の役割」

| | |
|---|---|
| テーマ | これからの地域づくりや家庭・地域の教育力向上に向けて<br>社会教育委員はどのように関わっていけばよいか |
| 視　点 | 人口減少社会における新しい地域づくりに向け、触れ合い、支え合い、助け合いを再構築するなど、地域の課題をどのように解決していくか、社会教育の中核を担う社会教育委員の役割について考える。 |
| コーディネーター | 岩手大学名誉教授　新妻　二男　氏 |

| 事例発表者 | 発表内容 |
|---|---|
| 岩手県社会教育委員<br>議長　中村　利之　氏 | 岩手県の地域づくりや教育振興運動等における社会教育委員の関わりについて紹介します。 |
| 仙台市社会教育委員<br>委員長　松本　　大　氏 | 仙台市社会教育委員の会議の調査・研究や会議の在り方について紹介します。 |

## ■ 第２分科会　「家庭教育支援」

| | |
|---|---|
| テーマ | 地域で支える子育て家庭と子どもの学び<br>― 社会教育に求められることとは ― |
| 視　点 | ネグレクトやヤングケアラーなどの家庭での子育てに関する問題が増えている中、親を含めた家庭教育を地域全体で支える体制作りが求められている。若い親子が地域で孤立せず、つながりをつくるために、社会教育委員をはじめとする社会教育関係者がその強みを生かしてどのように取り組んでいけばよいかを考える機会とする。 |
| コーディネーター | 岩手大学教育学部准教授　深作　拓郎　氏 |

| 事例発表者 | 発表内容 |
|---|---|
| 一般社団法人みらいねっと弘前<br>代表理事　鹿内　　葵　氏 | 青森県の家庭教育支援団体の取組を紹介します。 |
| 岩手県社会教育委員<br>特定非営利活動法人矢巾ゆりかご<br>理事長　半澤　久枝　氏 | 岩手県内の子育て支援団体の取組を紹介します。 |

## ■ 第３分科会　「学校・地域の連携・協働」

| | |
|---|---|
| テーマ | 学校と地域がつながることで見える景色 |
| 視　点 | 子どもを中心に据えた学校づくり・地域づくりの実現には、「社会に開かれた教育課程」と「学校を核とした地域づくり」の両面が必要不可欠である。教育活動や地域活動がどうあれば自分事となり地域全体に「ゆるやかなネットワーク」が形成されていくのか、事例発表等をとおして参加者と一緒に考える。 |
| コーディネーター | 秋田大学教育文化学部非常勤講師　皆川　雅仁　氏 |

| 事例発表者 | 発表内容 |
|---|---|
| 認定NPO法人カタリバ<br>大槌町教育魅力化事業<br>事業責任者　小野寺　綾　氏 | 岩手県立大槌高校独自の新カリキュラム「地域探究科」や自分の興味を深める「マイプロジェクト」、復興や海洋環境に関する「研究会」等、東日本大震災津波から地域に根差した学びの実現に向けた、行政・学校・民間の連携について紹介します。 |
| 鎌倉市参与・鎌倉女子大学非常勤講師・<br>前 楢葉町地域学校協働センター長・<br>文部科学省CSマイスター<br>（福島・石川担当）　猿渡　智衛　氏 | 東日本大震災津波と福島第一原発事故からの福島県楢葉町の地域再生の取組と、能登半島地震や能登豪雨の被害を受けた輪島市など能登の実状等を通して、特に被災地における地域と学校の協働に関する事例を紹介します。 |

## ■ 第４分科会　「人づくり・つながりづくり・地域づくり」

| | |
|---|---|
| テーマ | インクルーシブ社会（共に生きる社会）を目指した社会教育の挑戦 |
| 視　点 | 持続可能な社会の創り手として期待される子どもに関する社会課題や地域課題、教育課題の多様化・複雑化・複合化が進展している。多様な主体との連携・協働による課題解決学習の展開やインクルーシブ社会（共に生きる社会）を目指した社会教育を基盤とした「人・つながり・地域づくり」の挑戦について考える。 |
| コーディネーター | 盛岡大学短期大学部教授　嶋野　重行　氏 |

| 事例発表者 | 発表内容 |
|---|---|
| こどものデイサービスなないろ<br>所長　関　ミチル　氏 | 子どもの療育・医療ケア・発達障がいに関する支援について紹介します。 |
| 盛岡大学文学部<br>准教授　塩谷　彩花　氏 | ペアレントトレーニング・子育て支援について紹介します。 |
| 居場所支援事業所ソルド<br>所長　佐藤　　友　氏 | 子どもの不登校・居場所づくりに関する支援について紹介します。 |
| 障がい者支援施設希望ヶ丘学園<br>園長　高橋　由紀　氏 | 希望ヶ丘学園での利用者の芸術活動支援について紹介します。 |

## ■ 第５分科会　「公民館（社会教育施設）の役割」　会場：盛岡市中央公民館

| | |
|---|---|
| テーマ | 地域の財産を生かした人づくり・地域づくり<br>～公民館から次代を担う人づくりを考える～ |
| 視　点 | 現在、日本では多くの外国人観光客が国内各地を訪れ、その地の魅力を堪能している一方で、住民自らが住んでいる地域の持つ歴史や文化等、新旧様々な魅力、価値を見出し、地域づくり、人づくりに繋げ、地域社会を活性化することには課題を残している。本分科会では、歴史や文化が人や地域を育む可能性と「場」について考える。 |
| コーディネーター | 岩手県立大学総合政策学部准教授　役重　眞喜子　氏 |

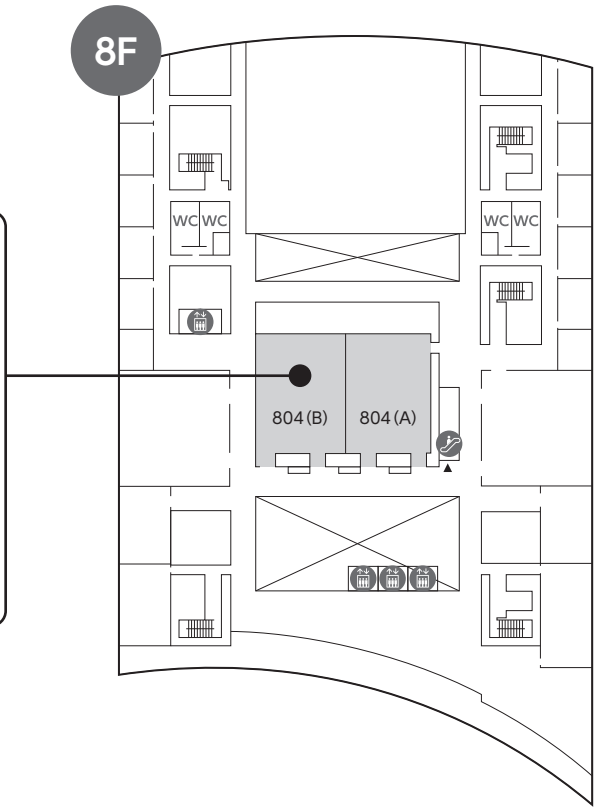
| 事例発表者 | 発表内容 |
|---|---|
| 一般社団法人表千家同門会<br>岩手県支部参与　池田　惠子　氏 | 茶道を通じた人づくりと月釜茶会、芸術祭茶会の開催による地域文化の発展について紹介します。 |
| 公益財団法人としま未来文化財団<br>地域文化課長　小笠原　愛　氏 | 地域の文化財を通じた人づくり、まちづくりについて紹介します。 |

# フロアガイド

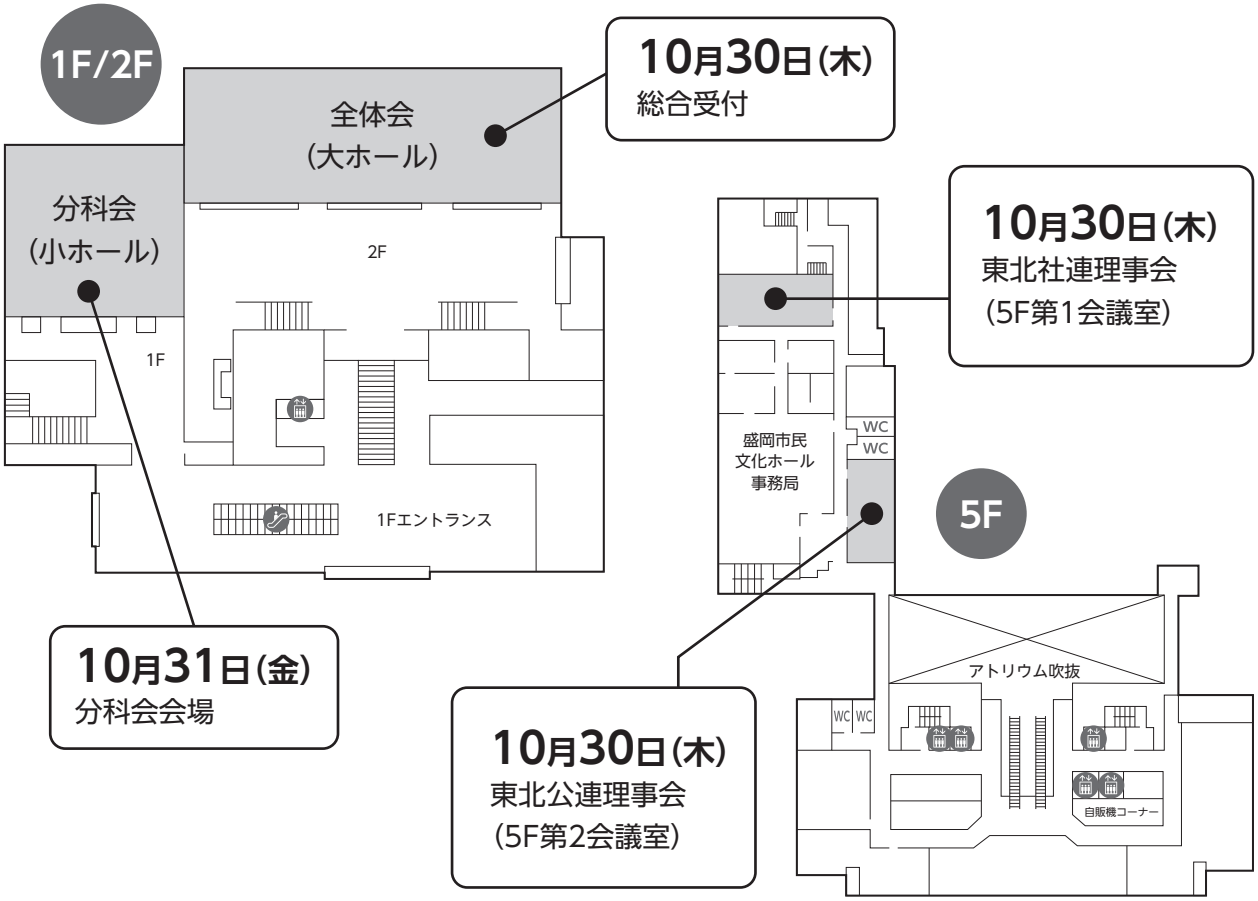
## いわて県民情報交流センター（アイーナ）

**10月29日(水)**
・全国社会教育委員連合理事会
・都道府県・政令指定都市社会教育委員連絡協議会等事務局担当者会議
（8F804会議室）

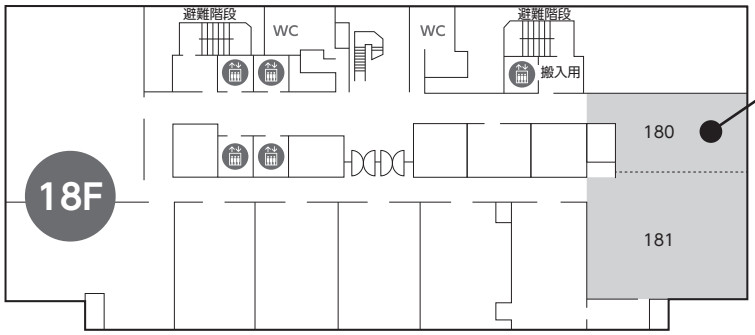
**10月30日(木)**
全国社会教育委員連合総会（8F804会議室）




## 盛岡市民文化ホール（マリオス）



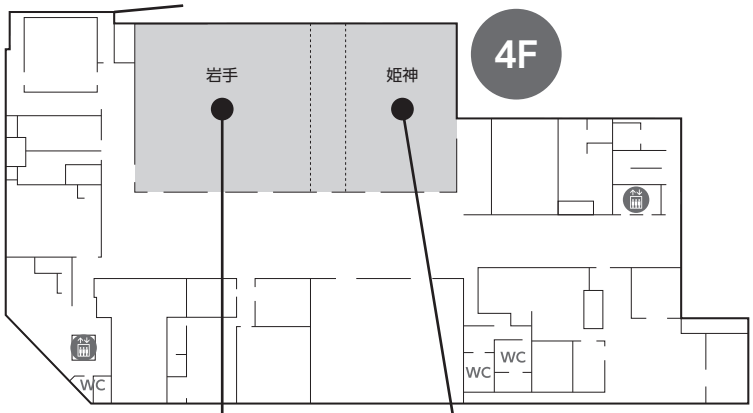
## 盛岡地域交流センター（マリオス）




**10月31日(金)**
分科会会場
（18F　180・181）

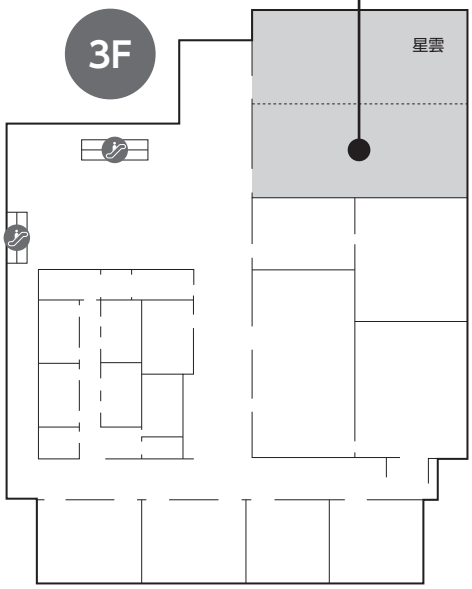
**10月31日(金)**
分科会会場
（3F星雲）

## ホテルメトロポリタン盛岡本館




**10月30日(木)**
分科会会場
（4F岩手）

**10月31日(金)**
情報交換会
（4F岩手姫神）




## ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING

---

## 中央公民館（第５分科会会場）

**10月31日(金)**
第５分科会会場
（講堂）

※盛岡駅から３kmほど離れております。
無料シャトルバスのご利用をおすすめします。（９ページ参照）

# 第67回全国社会教育研究大会

## 大会参加・宿泊・昼食弁当・シャトルバス・情報交換会申込のご案内

令和7年10月29日（水）から標記大会が岩手県で開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

大会事務局様からのご指示に基づき、大会参加に関わる各種申込手続きを東武トップツアーズ（株）盛岡支店が担当させていただくことになりました。大会の成功に向け精一杯のお手伝いをさせていただきます。

皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

東武トップツアーズ株式会社　盛岡支店
支店長　飛知和　比呂志

### 1.大会・分科会のご案内　（旅行契約に該当しません）

（1）期　　日　　令和７年10月29日（水）～31日（金）
（2）大会参加費　　5,000円（お一人様 資料代含む）※お支払い後の参加取消の場合、参加費のご返金はいたしかねます。
（3）分　科　会　　各自要項をご確認いただき、第３希望までお申込みください。
※大会参加費については大会実行委員会様からの依頼に基づき、東武トップツアーズ㈱盛岡支店が代行収受を行います。

### 2.宿泊のご案内　【東武トップツアーズ㈱の募集型企画旅行です】※最少催行人数１名（添乗員は同行いたしません。）

（1）宿泊設定日　　令和７年10月29日（水）・30日（木）

**＜宿泊施設一覧表＞**　＊下記の旅行代金は、１泊朝食付の税金・サービス料を含むお一人様１泊あたりの代金です。

| No. | ホテル名 | 部屋タイプ | 旅行代金 | 食事条件 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ホテルメトロポリタン盛岡本館 | 洋室／シングル | ¥13,000 | １泊朝食 |
| 2 | ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING | 洋室／シングル | ¥15,000 | １泊朝食 |
| 3 | ホテルルートイン盛岡駅前 | 洋室／シングル | ¥9,500 | １泊朝食 |
| 4 | リッチモンドホテル盛岡駅前 | 洋室／シングル | ¥13,000 | １泊朝食 |
| 5 | ダイワロイネットホテル盛岡駅前 | 洋室／シングル | ¥15,000 | １泊朝食 |
| 6 | アートホテル盛岡 | 洋室／シングル | ¥13,000 | １泊朝食 |
| 7 | フォーポイントフレックスbyシェラトン盛岡 | 洋室／シングル | ¥9,500 | １泊朝食 |
| 8 | ホテルパールシティ盛岡 | 洋室／シングル | ¥10,000 | １泊朝食 |
| 9 | ホテルエース盛岡 | 洋室／シングル | ¥10,000 | １泊朝食 |
| 10 | ダイワロイネットホテル盛岡 | 洋室／シングル | ¥15,000 | １泊朝食 |
| 11 | ホテルニューカリーナ | 洋室／シングル | ¥12,000 | １泊朝食 |
| 12 | パシフィックホテル盛岡 | 洋室／シングル | ¥12,000 | １泊朝食 |
| 13 | ホテル小田島 | 洋室／シングル | ¥9,500 | １泊朝食 |

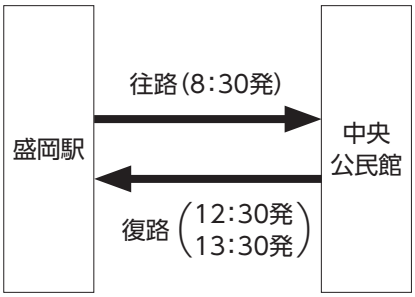
※お申込順でのご案内となります。状況によりご希望に添えない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
※ホテルルートイン盛岡駅前の朝食は施設による無料サービスです。
※朝食が不要になった場合でもご返金はございません。

### 3.お弁当（昼食）のご案内　（旅行契約には該当しません）※当日販売はございませんので事前のお申込をお願いいたします。

（1）期　　間　　令和７年10月30日（木）
（2）弁 当 代 金　　1,100円（税込・お茶付き）
（3）お渡し場所　　全体会会場弁当受け渡しブース
（4）お渡し時間　　11：00～13：00　※岩手ならではの食材を使用したお弁当をお楽しみください。
（5）変更・取消　　詳細については「9.変更・取消について」の項をご確認ください。

## 4.第５分科会会場への無料シャトルバスのご案内　※大会実行委員会様のお手配により、無料シャトルバスが運行されます。

（１）期　　間　　令和７年10月31日（金）
（２）乗車場所　　盛岡駅西口バスターミナル・盛岡市中央公民館
　　乗車場所の詳細は裏表紙アクセスマップをご覧ください。
※当日の申込受付はいたしませんので、事前にお申込みください。
※第５分科会の会場は盛岡駅から３kmほど離れておりますので、
　シャトルバスのご利用をおすすめします。
※分科会の申込とあわせての予約となります。シャトルバスをお申込
　される場合は、第５分科会（シャトルバスあり）をご選択ください。




## 5.情報交換会のご案内　（旅行契約に該当しません）

（１）期　日　　令和７年10月30日（木）　受付18：00　開会18：30　閉会20：30
（２）場　所　　ホテルメトロポリタン盛岡本館　４階　『岩手・姫神』
　　〒020-0034　岩手県盛岡市盛岡駅前通１番44号　JR盛岡駅より徒歩１分
（３）会　費　　6,500円（税込）※７日前から当日のキャンセルについては、100％のキャンセルがかかります。
※当日の申込受付はいたしませんので、事前にお申込みください。
※情報交換会の会費については大会実行委員会様からの依頼に基づき、東武トップツアーズ㈱盛岡支店が代行収受を行います。

## 6.申込方法

（１）申込方法　　WEBからのお申込みとなります。
※WEBお申込みより添付されている旅行条件書を事前にご確認の上、お申込みください。
※過去の大会で利用したアカウントを継続して利用（ログイン）は出来かねますので、
　お手数をおかけしますが、新規登録をお願いいたします。

URL：https：//sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/kyoiku-iwate/

（２）申込締切　　**令和７年８月29日（金）17：30まで**
（３）申込内容の変更等について
　　WEB申込画面より、参加登録・変更・取消の操作を行うことができます。お申し出の日時より
　　申込項目毎に取消料を申し受けます。（詳細については「9.変更・取消について」の項をご確認ください。）

## 7.お支払いのご案内

（１）支払方法　　カード決済・コンビニ払い・振込みより選択可能です。
　　詳細はWEB上の『お支払い』ページよりご確認ください。
（２）支払期限　　**令和７年９月26日（金）まで**

## 8.利用券の印刷・持参について

お申込みいただいたWEBページより、参加者ごとの予約確認書（利用券）を**A4用紙に印刷して**、
当日ご持参ください。利用券は９月16日（火）以降印刷可能です。
分科会につきましては、利用券の発行をもって決定通知といたします。

## 9.変更・取消について

お申込内容に変更・取消が発生した場合は、**前日までは必ずWEBにて操作下さい。**
宿泊日当日のお取消については、お電話にて承ります。東武トップツアーズ（株）盛岡支店までご連絡ください。
取消日とは、お客様が当社の営業日・営業時間内に解除する旨をお申し出いただいた時点を基準といたします。
（営業時間外のお申し出については、翌営業日の取扱いとなります。）
尚、変更・取消により返金が生じた場合は、大会終了後に各申込責任者へ振込にて返金いたします。

**【ご宿泊】　※旅行契約成立後に解除される場合は、１泊ごとに下記の取消料を申し受けます。**

| 取消日 | 旅行開始の前日から起算してさかのぼって | | 旅行開始日<br>前日の解除 | 旅行開始日<br>当日の解除 | 旅行開始後の解除<br>または無連絡不参加 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 13日目から8日目まで | 7日目から2日目まで | | | |
| 取消料 | 旅行代金の20％ | 旅行代金の30％ | 旅行代金の40％ | 旅行代金の50％ | 旅行代金の100％ |

※旅行開始当日12時までに連絡がない場合、無連絡不参加として取り扱い100％の取消料を申し受けます。

**【お弁当】**

| 取消料 | ご利用日前日（10/29）の11：00まで | ご利用日前日（10/29）の11：00以降 |
|---|---|---|
| お弁当 | 無料 | 弁当料金の100％ |

【注意】事故防止のため電話での変更等は行っておりませんので予めご了承ください。

## 10.個人情報の取扱いについて

旅行申込の際に提出いただいた個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただく他、お客様がお申込みいただいた旅行において運送、宿泊機関、手配代行等の提供をするサービスの手配及びそれらのサービスの受領のための手続き、並びに大会運営に必要な範囲内で、当社および大会事務局と共同利用させていただきます。

## 11.その他

**【特別な配慮を必要とする方のお申込みについて】**

お客様の情報によっては、当初の手配内容に含まれていない特別な配慮・措置が必要になる可能性があります。特別な配慮・措置が必要となる可能性がある方は、事前に当社まで必ずお申し出ください。

## 12.お問合わせ・お申込み先

**【旅行企画・実施】**

# 東武トップツアーズ株式会社　盛岡支店

観光庁長官旅行業第38号　JATA正会員　ボンド保障会員
〒020-0034 岩手県盛岡市盛岡駅前通16-21 盛岡駅前通ビル４階
TEL：050-9001-8574 ／ FAX：019-653-2093
営業時間：平日９：30～17：30　／　休業日　土曜・日曜・祝日
支 店 長：飛知和　比呂志
　　総合旅行業務取扱管理者：飛知和　比呂志
担　　当：阿部　幸恵　／　斉藤　博子
E-mail：iwate67@tobutoptours.co.jp

【客国25-056】

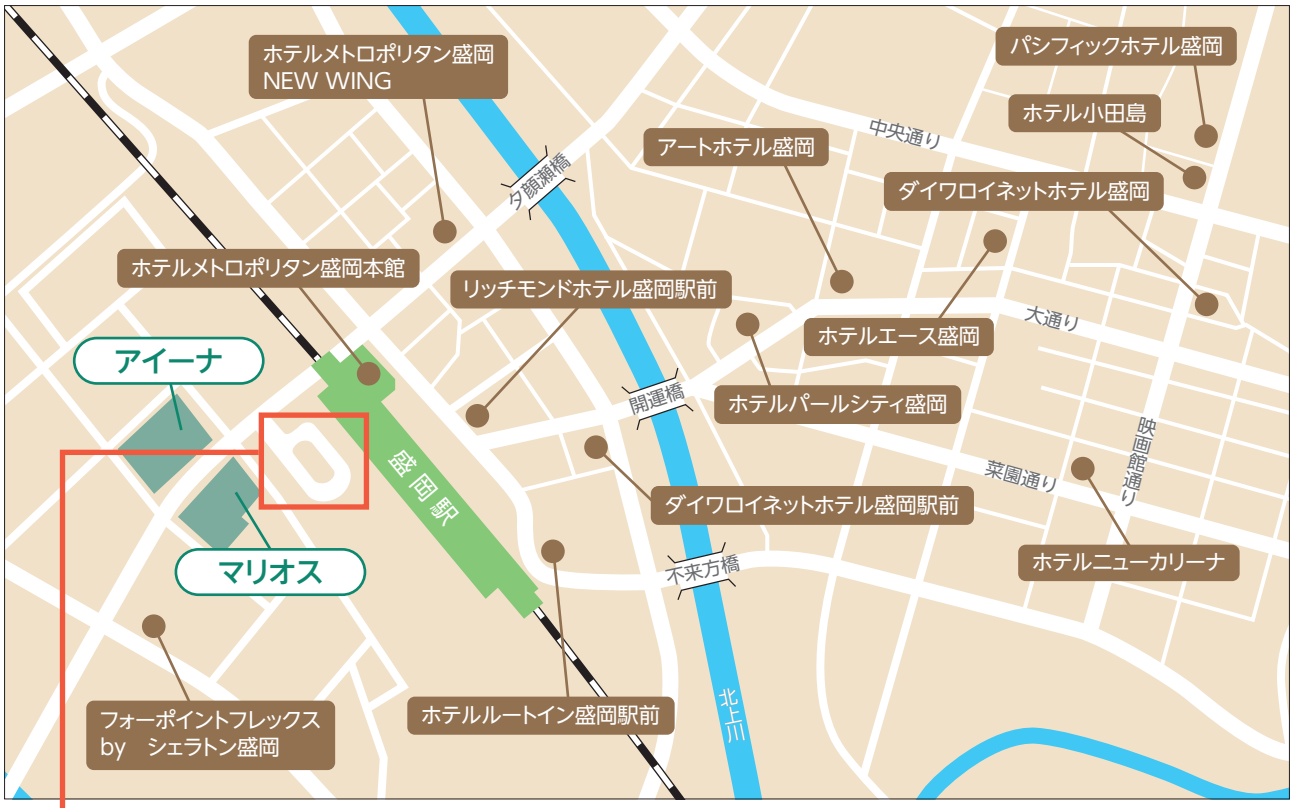
旅行業公正取引協議会会員

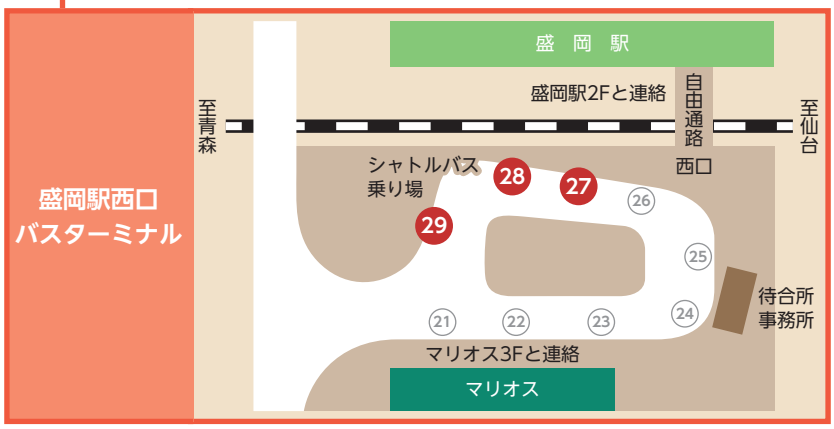
特定商取引法に基づく表記

| | |
|---|---|
| 事業者 | 東武トップツアーズ株式会社 |
| 販売責任者 | 代表取締役　百木田　康二 |
| 本社所在地 | 〒131-0045　東京都墨田区押上一丁目１番２号 |
| お問い合わせ先 | （事業所名）盛岡支店<br>電話番号：050-9001-8574<br>メールアドレス：iwate@tobutoptours.co.jp<br>営業時間：9：30～17：30　定休日：土／日／祝日休業 |
| 商品の販売価格 | お弁当・紙パック茶付　1,100円（税込価格） |
| 商品以外の必要となる費用 | 消費税（販売価格に含む）、振込手数料（銀行振込） |
| お支払い方法・お支払い時期 | 【お支払方法】銀行振込／クレジットカード／コンビニ払い<br>【お支払時期】お申込みサイト上の請求書に記載した期日までにお支払いください |
| 商品のお引き渡し時期・サービス提供の時期 | ご利用日当日に商品をお渡しいたします。 |
| お申込み期間 | 宿泊弁当申込要項の記載をご確認ください |
| 販売条件 | 当社が取り扱う本大会専用の宿泊・弁当申込要項よりお申込みをいただいた方 |
| お申込みの変更及びお取消し、返品・交換・キャンセルについて | 取消・変更については、宿泊・弁当申込要項にてご確認下さい。 |
| 欠陥・不具合等の取扱い | 商品表示にある消費期限内にお申し出ください。<br>商品（弁当・お茶）に不具合の有った場合は、交換または返金対応いたします。 |

# 盛岡市内会場案内図

第67回全国社会教育研究大会



©わんこきょうだい

シャトルバス乗り場

**盛岡駅西口 27〜29**

※当日乗り場が変わる可能性があります

## 主　催

一般社団法人全国社会教育委員連合
東北地区社会教育委員連絡協議会、東北地区公民館連絡協議会、岩手県社会教育連絡協議会
第67回全国社会教育研究大会岩手大会実行委員会

## 共　催

岩手県市町村教育委員会協議会、岩手県教育委員会、盛岡市教育委員会、岩手県生涯学習振興協会、
公益財団法人盛岡市文化振興事業団

## 後　援

文部科学省、公益社団法人全国公民館連合会、青森県教育委員会、秋田県教育委員会、宮城県教育委員会、
山形県教育委員会、福島県教育委員会、岩手県、盛岡市、岩手県市長会、岩手県町村会